

HARLEM

SPIT'EM OUT! "it's absolutely raw"

- This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene... -

feature interview

DJ MURO

渋谷の“KING OF HIP HOP”ことK.O.D.P.代表MUROが多忙な合間をぬってHARLEMマンスリー巻頭へ(祝!)超久々の登場!! HIP HOPだけに留まらずFUNK/SOUL/DISCO/HOUSE/LATAINなど様々な音楽を融合し活動の幅を広げ続ける氏に今のHIP HOPシーンはどう写っているのか? またHIP HOP色を全面に押し出した今年の2ndアルバムに込められたメッセージとは一体? HARLEM RECORDINGSより12月に発売されるREMIXアルバムへの参加、来年予定されているという待望の3rdアルバム、増々勢いに乗る洋服展開など…。シーンの最重要人物でありながら冷静かつ客観的な視点でシーンの未来を見据えるMURO氏に今の近況を語ってもらった!

■最近のMUROさんは、HIP HOPというよりはDANCE MUSIC全般に視点を置いて活動されていると思いますが、そんなMUROさんから見た今のHARLEMの印象をお聞かせ下さい。僕の場合は土曜日なので、他の曜日に比べると、衛星放送で流れてるPVの回数が多い曲ほど盛り上がるような気がするけど、その辺は自分的には変えていきたいなって思っている所ではあるんですね。土曜日も例えば1、2週間前に出た新譜とかはまだ浸透していないんですね。浸透するまでに時間が掛かる曜日もあるので、その辺は流行なしに自分の本当に好きな曲はその中でうまく混ぜて常にかけていきたいですね。土曜日はホントに簡単そうで難しい曜日ですね。

■昔と比べHARLEMの変化について感じる所はありますか?

HARLEM全体的には単純に音を楽しみに来るお客様が増えたと思います。前にインタビューを受けた時(2000年2月号)よりも構えるお客様が減ったというか、基本的に音を好きなお客様が増えて来ていて良いと思います。その辺土曜日はまだちょっと他の曜日に比べたら少ないけど、そういうお客様が増えていけばもっといいかなって思いますよね。

■HARLEMでプレイする時に他のクラブと比べて心がけている事は?

なるべく期待に応えて、お金払った分は楽しんでもらいたいですね。みんなが楽しめるようにその部分は意識してますね。新譜から旧譜から色々自分で展開つけて、その混ぜ具合がすごく難しいんですよ、HARLEMって。土曜日は特に地方のお客さんも多いから。

■HIP HOP以外のジャンルもHARLEMでかけたりしますか?

NO DOUBTを始めた頃は好き勝手やらせてもらって、まだどんなものか分からなかったので、好きなようにやってたんですけど、最近は土曜のレギュラーDJが築いたカラーがあるから、その辺は大事にしたいですね。自分のスタイルがオールジャンルをかけてHIP HOPにいかせるみたいなスタイルなので、それが出来るようになれば一番自分でも理想なんんですけど、今の土曜日はまだちょっとキツイかなっていう感じがあるかな。

■HARLEM ver.1.0のリリースを記念して行ったHARLEM全国ツアーで、MUROさんは札幌に参加して頂きましたが、その時の感想を教えて下さい。

面白かったですよ。久しぶりに大勢で行った感じだったので。移動の時にリムジンバス(※人数の割に大型リムジンバスだった)を見た時点できっとあがりましたけどね(笑)。キングムーも久しぶりだったのでやり甲斐がありましたね。

■MUROさんも参加されている12月にリリースされるREMIX ALBUM “HARLEM ver.1.7”について。MUROさんはSTRETCH ARMSTRONGの曲をREMIXされてますが…。

マイクロフォンペイジャーの時に一度STRETCH ARMSTRONGにREMIXをお願いした事があった、

今回はその逆みたいな感じで、自分がREMIXをする立場だったので、彼の曲を何回も聴いて、ニュアンス的に違ったような感じがありつつも、オリジナルの匂いがするような感じのものを作りたかったんですよね。自分的には凄く気に入っているビートだったので、盛り上がる1曲になるんじゃなくて、ブリッジで“活ける”ような曲を作りたかったんですね。TRAGEDYも昔から好きなMCだったのですね。作業は楽しかったです。

■HARLEM ver.1.0で印象に残った曲はありますか?

TOKONA-Xですかね。彼は見つけちゃいましたね、自分のオリジナルスタイルを。TOKONA-Xはこれから楽しみです。これからもう後は伸びるだけのMCだと思うし、名古屋っていうのも面白いですね。最近の特徴として、東京も東京でいっぱい若い子が出て来ているけど、誰かに近い感じがあったり。でも地方の子ってホントにピュアな感じで、その分リリックもフロウも方言も面白いなって感じですよね。地方とか営業行った時にデモテープとからうけど、凄い面白いですよ。

■1stアルバムでは、ラテンやブラジル色の強い曲も多かったのですが、今回の2ndアルバムではHIP HOPが全面に出たいわゆる原点回帰的なモノを強く感じました。アルバムによって様々な引き出しを披露しているMUROさんの今後の方向性とは?

ファーストアルバムは実験的な要素多かったし、自分の中でも結構遊んだ感じだったんでよね。今の日本のシーン的には、幅を広げるという意味をちょっと違って捉えている楽曲のものが凄く多くて、HIP HOPじゃなくてただのPOPSという感じに聴こえるリリックや楽曲が多くて、それで今回の2ndアルバムは自然とあいうHIP HOP色の強い楽曲が増えたんですね。逆にミドルスクールやオールドスクールを聞き直したりして、かける機会もすごく多かったので、自然とそういう流れになりました。それと今年はプロデュースワークを1年にしたかったのでMCによってビートを考えるみたいな、そんな感じの年でした。来年はちょっとソロを出そうかなって思っています。そこでは色々また新しい扉を見つければなって思う。

■ソロ作品は既に制作に入っているのですか?

来月くらいからですね。その前に完全にプロデュース側に回ったようなミニアルバムを1月に1枚出します。

■最近好きなHIP HOPのプロデューサーは?

アルケミストとかいいですね。本人の好きな事やってる姿勢が、媚びずに自分のスタイルをメインストリートからアンダーグラウンドまで幅広く出来るっていうのが凄くいいですね。去年からずっとアルケミストの仕事は凄い良いし、サンプリングも魅力ですね。フレミアもまた面白いですね。最近自分でレーベルを起して、そこからリリースされたものを聴いたんだけど、自分で出す曲はやっぱり凄い大胆なサンプリングでそれを結構いいチョップで組んで。凄い良かったです。



■MUROさんが思うHIP HOPの定義とは?

「黒さ」ですかね。試聴機とかで聴いてもヨーロッパのものでも黒いものは黒いし、その辺のグループが伝わればどこの国でもどんな人種でもオッケーです。

■クラブがオリジナルのアルバムをコンピレーションとしてリリースする事についてはどう思われますか?

凄くいいと思いますよ、僕は。HARLEMから火がついで例えれば地方のクラブでまたそういうのが出て、その土地に“確実なシーン”が生まれて盛り上がっていったらもっと面白くなりますね。

■今後のHARLEMに期待する事は?

土曜日はお客様もいい感じに入ってるしね。お客様の引きが遅くなってるから、その辺が凄いですね。落としても落としてもずっと踊ってくれて。それは凄い良い事なんですけどね。HARLEMはまた独特ですね。平日のどこかで1日、月1とかでもらえたたらもっと好き勝手出来る日をちょっと1回挑戦してみたいっていうものもあるんですけどね。ミドルスクールからディスコとかバーラードまでも回せるような。もしそれが出来るんだったら5時間でも回しちゃうんですけどね(笑)。やってみたいな。

■最近では5時間セットで回す機会などはありますか?

あんまりないです。でも今、月1でAirというクラブでやってるんですけど。Airはどっちかっていうと四つ打ちメインで、やっぱりHOUSE色が強い感じなので。HARLEMだったらベースがHIP HOPだから凄いやりたいなあとか思っているんですけどね。

■プライベートの過ごし方は?

街をぶらぶらしています。結構一人で回るの好きなので。どこでも行きますよ。吉祥寺とか高円寺も行くし。中古レコード屋がある所は割と古着屋さんもあったりするので。そういう所で、今ミドルスクールもややブームじゃないですか。ギアとか古着も当時自分が持っていたようなグッチのパチもんだったりとかそういうものも意識して古着屋も買付けてたりして、そういうの見てるの凄い好きですね。

地方営業も楽しみですね。場所によっては前乗

りしていったりして。場所によって置いてあるものも全然違うからそこが面白かったりしますね。

■地方の変化を感じる所はありますか?

変わってますね。違いますよ、オーディエンスも。最近は九州に行く事が多かったんだけど、凄い返りもいいし、HARLEMくらい音を抜いても合唱してくれたり、信じられないですね、僕的には。新譜も前までは浸透するまでに相当時間が掛かってたから、かけても1クッションあって、都内の子が盛り上がって、それを見て盛り上がる所があったけど、そういうのが無くなってるんですね。今の情報量じゃ多分そうだろうな。札幌も盛り上りましたもんね。凄い良いことです。

■洋服のブランドの方はいかがですか?

BEAMSと夏くらいからやり始めて、Wネームで。今期はデニムのジャージのセットアップを作りました。オリジナルもブランドを新たに二つ立ち上げたんですよ。9月にはお披露目発表会みたいなものもやって、11月が6周年なんですけど、そこで色々出して行こうかなって思ってます。

■今後の予定は?

1月22日にミニアルバムが出ます。今週ずっとスタジオ入って録ってる感じなんですけど。リードトラックは久々にマイクリレーものを作ったんですけど、キャスティングも含めて、超スリリングな内容になってます。またインストものも2曲入ってて、凄い良い感じのパーティトラックになりましたね。それで来年中には3rdアルバムを予定している感じです。

■読者へのメッセージ

土曜日は多分誰が来ても楽しめるパーティだと思うので、どんなジャンルの人でも。今のHIP HOPが見える、一番入りやすい曜日なので、是非来て欲しいですね。WATARAIとやるようになってからまたちょっと自分の中の気持ちも盛り上がって。一緒にやるの凄い久しぶりだったので。しかもHARLEMでやれるって事で、凄く新鮮な気持ちで出来ているので是非来てもらいたいなって感じですね。

あとはさっき言った長い時間プレイしたりするのもこれを読んでいる人からの希望とかで出来たりもするので、意見を聞かせて下さい(笑)。